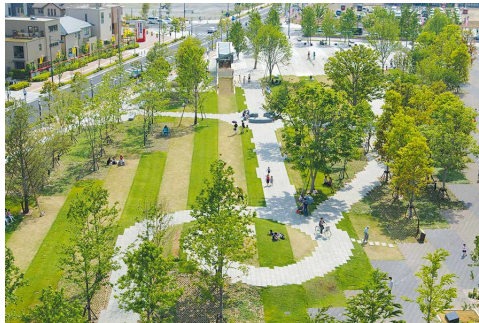


“身近に公園とみどりのある暮らし”を目指して
大規模な公園や身近な公園を新設・整備し、
みどりを守る活動を進めてきました。



過去の関連記事はこちら



きたまち しましま公園

つくる



コンセプトは「土地の記憶を継承する」

富士山と筑波山を結んだ直線上に位置し、2種類の芝生がつくる美しいしま模様は2つの山の方向を示しています。

細長い形状の公園内には、芝生広場や「水の劇場」と称される噴水、土地の歴史にちなんだオブジェやまちに溶け込むようにデザインされたモダンな施設が並びます。平成18年には、(公財)日本デザイン振興会の「グッドデザイン賞」を受賞しました。

公園の魅力を高める

Park-PFI

企業と市が連携して公園の魅力を高め、さらなるにぎわいづくりを目指す制度。民間企業が公園内にカフェやレストランなど施設の充実を図り、収益が公園の整備や管理に活用されます。さいたま市では現在、市内の公園におけるPark-PFIの活用を検討しています。

与野公園

まもる

バラサポーターが守る公園の価値

バラや桜の名所であり、天祖神社を有する由緒ある公園。毎年5月には「ばらまつり」が開催されています。市民の憩いの場であるのはもちろん、市内外から多くの方が訪れ、にぎわいを見せます。シーズン中のバラ園の手入れやボランティアガイドを行うバラサポーターなどの手によって、長い間与野公園の価値が守られています。



合併記念見沼公園

これまでと
これから

合併のシンボル

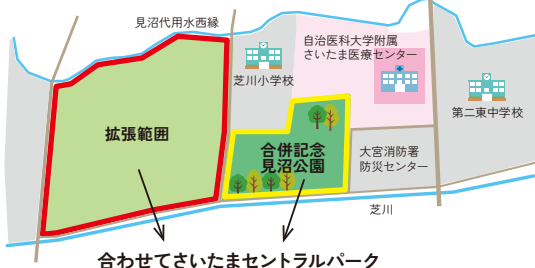
市のほぼ中央に位置する「セントラルパーク整備構想」の先行整備地区に、合併のシンボルとして平成19年に開設。整備中から市と自治会、NPOなどが完成後の公園の活用について話し合い、現在、年に数回行われる「ふれあいまつり」に受け継がれています。



セントラルパーク整備構想

さいたまセントラルパークの事業に着手します

見沼田圃地域の自然や動植物を守りみどりに親しめる場の提供を目指しています。合併記念見沼公園は、これから拡張整備するエリアとともに、「さいたまセントラルパーク」として見沼田圃と市民をつなぐ役割を担います。



花いっぱい運動推進会

花とみどりのまちづくりに参加しませんか？

駅前や公園、公民館などの公共施設では、登録ボランティア団体が花壇活動を行っています。花いっぱい運動を通して仲間との交流を深めたい、まちづくりに関わりたいという方は、ぜひご参加ください。



▶ 入会についての詳細は、みどり推進課 (048-829-1423)まで。

